



兵庫県

強い行動障害がある方や そのご家族への支援事業

集中支援

行動障害がある在宅の障害者を、専門知識を備えた支援施設で24時間、マンツーマン体制で支援します。支援期間は大体3～6ヶ月程度で、集中支援後に障害福祉サービスの利用ができることを目指します。

地域支援

集中支援を受けた障害者の方が、住み慣れた地域で安定した生活が送れるよう、所属施設（通所）職員やヘルパー等が実習を通し、行動特性や支援方法を学ぶことを目的とします。その後、所属施設への訪問助言を行います。

兵庫県 強度行動障害地域生活支援事業について

兵庫県と県内市町が国の補助金を活用して行う事業です。激しい行動障害がある方を支援した経験がある専門事業所（障害者支援施設あかりの家：高砂市）が、本人に合ったサポート体制の構築や対人環境の整備などの支援を、チームで行います。

○利用者の経費負担：無料（期間中の通常生活にかかる経費は必要）

○対象者：原則18歳以上で「行動関連項目」判定基準で10点以上の方

○申請先：お住いの市町の障害福祉課



取組実績について

修了者10名（令和7年5月時点）

※修了者の様子は、修了者の関係者からの声をご一読ください。

問い合わせ先：加古川市障がい者支援課

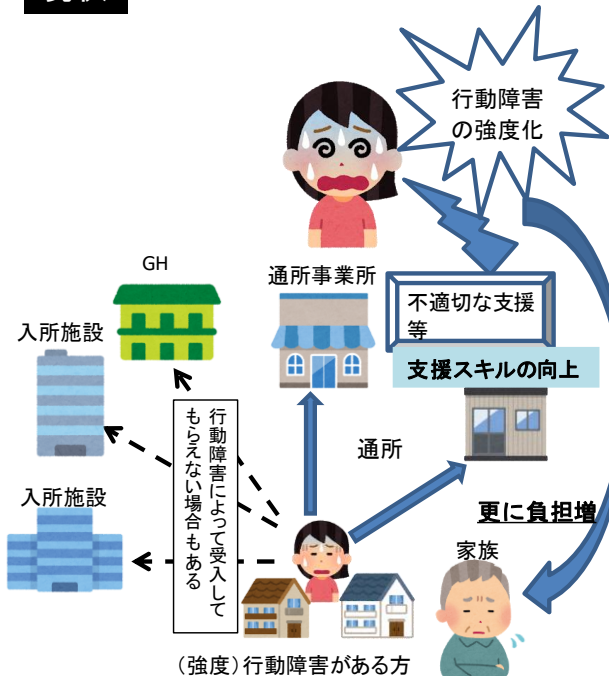
電話

開庁時間：月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分
（土・日曜日、祝日、年末年始は閉庁）

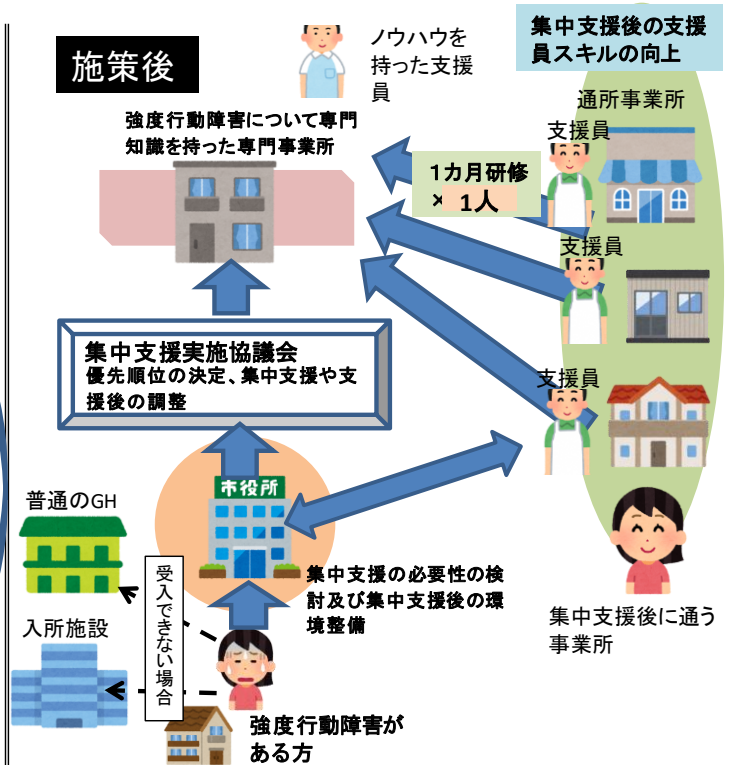
079-427-3626

事業の大まかな流れ

現状



施策後



集中支援ってどんなことをするの？

①集中支援前期（アセスメント・行動支援：概ね1ヶ月）

事前に所属施設・家庭を訪問し、情報収集を行い、受け入れ初日に臨みます。

まず、専門事業所で食事・睡眠・排泄／日中活動を軸に、行動の修復や生活リズムの再構築を目指します。事業嘱託医と緊密に医療面等の調整を行いつつ、**先回りの支援を通して成功体験を積み重ねる**ことを目標に支援します。

②集中支援中期（家庭支援を並行：概ね1ヶ月）

①期のテーマと、家庭への帰省を並行して取り組んでいきます。

家庭で予想される行動に対して、家族と一緒に考えていきます（家族の方の実習等）。事業終了後の地域生活を視野にしたメインテーマとなる取り組みとなります。

③地域支援期（概ね1ヶ月）

(A) 専門事業所での実習（所属施設の職員やヘルパー等。約2～3週間）

専門事業所での関わりを通し、対象利用者の行動特性や対応を学んでいただきます。

(B) 所属施設への訪問助言

家庭から所属施設へ通所し、事業後の地域生活を想定した環境で訪問助言を行います。

地域支援について

①専門事業所での実習（2～3週間）、②所属施設への訪問助言。期間は調整に応じます。実習時、宿泊を希望される方は調整に応じます。

留意事項

- 必ずお住まいの市町を通して申請してください。
- 集中支援期間中の通常生活にかかる経費は必要です。
- 集中支援後もお住まいの市町や地元の事業所、専門事業所と協力してください。



届け！心の声

お姉ちゃんは、去年3ヶ月間施設に入所しました。生きていく力をつけるためです。お姉ちゃんのいない生活は、はじめのうちは「こんな楽ちんか。」と思いました。でも、少ししてくると、さみしくなったのは、私の方でした。

お正月休みにお姉ちゃんが帰ってきたときは、「やっと、帰ってきてくれた。」と嬉しくなりました。帰ってくる日、私は部屋を片付け、ワクワクしてお姉ちゃんを待ちました。お姉ちゃんのご飯をきれいに食べられるようになったり、ビーズのれんが作れるようになったり、いろいろなことができるようになっておどろきました。「施設に入所して、どれだけお姉ちゃんがんばってきたんだろう・・・。」と感心しました。同時に、お姉ちゃんや私たちのために、たくさんの人が支えてくれていることをはじめて実感しました。

どんな強いひとでも、人は一人では生きてはいけません。だから、誰かが誰かを支えることで、みんなが生きていけるのです。お姉ちゃんと今、また一緒に暮らすようになって少し大変になったけど、お手伝いをいっぱいして私も家族を支えてあげたいです。

(修了者の妹さん(小学校6年生))

修了者の様子を見て

生まれてからずっと家庭医として校医として彼の成長を見てきましたが、重度自閉症の彼なら仕方ないとあきらめていました。今回理論と経験で整えられた環境、あかりの家で考えを一つにするスタッフに受け入れられると強度行動障害に悩む人も変われることを確信させてもらいました。

今回あかりの家で会った彼の様子は自立へのフロログでした。行動制御ができ運動療法も功を奏し、糖尿病高脂血症の内服薬は減り、自傷行為がなくなり傷も治癒し健康状態もよくなりました。地域で暮らす基本の「①仕事をする事」「②規則正しい日常生活習慣」を改めて作ってもらいました。これで、いつか好きなことで彼の満足した笑顔を描くことができるようになりました。これから先も支援という『あかり』に照らされてさらには彼自身の『あかり』を持って歩いてもらいたいと思います。

(修了者の主治医)